



通刊 第18号
(まゆやま創刊号)

発行
放送大学徳島同窓会
編集

同窓会会報編集局

発行責任者
柳本 聖

令和4年11月1日発行
現在会員数 53名

放送大学徳島同窓会会報「まゆやま」の 発刊にあたって

3年にわたり会報にどのような名前をつけるのか、会員の皆様にご相談させていただきました。これは前編集局長岡本満雄様の「会報にも名前があった方がいいと思いませんか」の一言から始まりました。確かに立派な名前のついた他の同窓会誌もございます。最終的に皆様に投票頂き「まゆやま」と「青藍」が同票になり、会長委任の票をもって「まゆやま」に決定するに至りました。「まゆやま」の優しい響きと万葉集にも詠まれた、いにしへの言葉に惹かれたと言えるでしょうか。

「まゆやま」の由来は、万葉集に春三月（やよひ）、難波宮に幸（いでま）す時の歌として

「眉(まよ)のごと雲居に見ゆる阿波の山
かけて傍ぐ舟泊(とまり)知らずも」(船王:ふねのおおきみ)

と詠われたところからきています。

まよやまと万葉集では言われていますが、私たちには眉山との呼び方が馴染みがあり、公式名にもなっています。どこから見ても眉の形に見えることから遥か万葉集の時代から呼ばれるようになったようです。（磨見）

これからも「まゆやま」をご愛読頂けますようよろしくお願いいたします。尚、多くの票を頂いた「青藍」はホームページに「青藍 放送大学徳島同窓会」として登場させて頂きたいと思っております。

ホームページを公開中

ホームページ「青藍」を公開いたしました。

「おいでなして徳島同窓会へ」で検索して下さい

検索出来ないときは <https://ouj-tokudousoukai.jimdofree.com>



他同窓会との連携と情報交換を目指して

放送大学徳島同窓会会長 柳本 聖

例年になく短い梅雨に始まり猛暑との闘いが終わり、足早に近づく秋の声に季節の移り変わりを感じられている方も多いことと思います。会員の皆様におかれましてはお元気にお過ごしでしょうか？日頃は同窓会活動にご理解、ご協力を頂きありがとうございます。

これまで徳島同窓会を代表して参加させて頂く連合会においての情報交換会や交流会では各同窓会の行事や活動について教えられることが多々ありましたが情報を得ながらも会員の皆様にお伝えすることができませんでした。今後少しずつではありますが情報共有出来ればと思っています。今回は手始めに今年5月に催された「仏はパミールを越えて」というセミナーを開かれた香川学友同窓会についてお伝えさせていただきます。

当日香川学友同窓会は午前中に総会を行い、昼食会の後セミナー開催というスケジュールでした。このセミナーは元々前年度行事でしたがコロナウイルス感染拡大のため延期を重ね年度をまたいでの開催となったそうです。セミナーは香川大学幸町キャンパス内にある放送大学香川学習センター講義室を使用されていましたが机を追加するほどの盛況で33名の参加がありました。講師の奥谷様は実際にご自身が仏

の進んだ道を辿って旅された経験談をたくさんの写真とともにお話しくださりました。セミナーの時間だけではなく香川同窓会報「瀬戸の風」にも連載されていて知識の奥深さを知ることが出来ます。香川同窓会ではセミナーのほか「島ネット」という調査旅行やタブレット研修会、地区交流会がそれぞれ複数回行われていて活発に活動されておられます。

今回のセミナーはメーリングリストを通じてご案内させて頂きました。今後も近隣同窓会からのお誘いを頂いた講演会等につきましては皆様にメーリングリスト、ホームページを通じて発信させて頂きます。中四国の同窓会との連携と緊密な情報交換による活性化を目指したいと考えます。

コロナウイルスの影響を受けて制限されてきた活動も今後ウイズコロナへと舵が切られていくことでしょう。徳島同窓会も皆様のお力添えを頂きつつ新たな活動に取り組んでいきたいと思いをします。

勉学をきっかけとした同窓会会員としてのご縁をこれからも広げていきましょう。

最後になりましたが皆様のご健康、ご活躍を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

お知らせ

同窓会連合会により1年間のZoom有料版を導入しました。同窓会活動等で利用希望の方はお申し出下さい。

大阪同窓会がマナピースタンプ帳を作成、販売しています。1冊500円で事務室で販売して頂いております。他の学習センターで面接授業を受ける際の記念に如何でしょうか。また、バッジも引き続き販売しています。



スタンプ帳と徳島学習センターのスタンプ。(スタンプは石川榮作前所長の御寄贈品です)

チョコちゃんに「なぜ誰かのファンになるの？」と聞かれたら？

徳島学習センター所長 橋爪 正樹



令和4年度に入ってもコロナ禍が収まらず面接授業の県境をまたいだ受講が禁止となり、セミナーやサークル活動などの行事の中止や同窓会活動も自粛をお願いしてきたところで、それがようやく令和4年2学期からは面接授業の県境を超えての受講が認められ、次第に中止や自粛をお願いしていた活動を再開できそうな状況となってきました。

そのような状況の中でも令和4年度は徳島学習センターと徳島県立図書館と共催で開催の講演会「まなびの森」は開催しています。そこではさまざまな内容の講演がされています。共催機関ということもあってそれを聴講させて頂くわけですが、自分の専門分野に関する教育・研究ばかりしてきた私にとってはまったく分野違いの講演を聞くことになり、新鮮で、新しい知識を得て、興味のわく幅が広がり、まだまだ自分の勉強不足を感じさせられています。その講演を聞いて「なんだそういうことだったのか」と今まで気になっっていなかったことが解決したり、新しい知見を得て一つ賢くなったことで喜びを感じたりし、生涯教育のすばらしさを体感しています。県立図書館には多くの蔵書がありますので、その講演会に同窓会の方々も聴講されてはと思います。

その講演会で味わえる体験がNHKの「チョコちゃんに叱られる」という番組でも体験できます。実はその番組を作っているNHKのプロデューサーの講演を聞く機会がありました。チョコちゃんは5歳児の設定なのですが、5歳児は疑問に思うと大人に「なぜ？」と問いかける。問われた大人はなんとかして答えようとするところから、視聴者への問

いかけ役は5歳児にしたそうです。また取り上げる質問も身の回りにある素朴なもので、大人が日頃「なぜ？」と考えないものを選んでいて、日々、その質問探しに明け暮れているとのことでした。その番組では大学の先生や企業の研究者など専門家という人が必ず出演しチョコちゃんからの質問に答えています。実はそれもその質問に解答できる専門家を必死になって探しているようで、視聴者に「え？こんなことを探求している専門家がいるの？」と驚いてもらいたい、つまり日本にはいろんなことを探求している専門家がいることを知ってもらいたいとのことでした。その番組にはそのようなさまざまな仕組みが埋め込まれて作られていることを知って奥の深さを知らされた次第です。

令和4年8月19日のその番組でチョコちゃんから「なぜ誰かのファンになるの？」という質問が出されました。ある歌手のファンクラブに入って全国で開催するコンサートについて行って他のファンクラブの会員といっしょに盛り上がる。それはなぜかという質問です。そんなことは考えたこともなかったのですが、その答えは「『自分はこれでいいんだ！』と思えるから」でした。その番組では心理学者の聖心女子大学小城英子教授が出てきて、ファンになるメカニズムを説明していました。ファンになるには、何かの「きっかけ」で始まり、その後、「ハマる」という大きな流れがある。そのきっかけは様々ですが歌手の場合はその人のパフォーマンスやキャラクターに魅せられることが多い。その後の「ハマる」では仲間もしくは自己の確立という作用が働き、ファンとなり続けるとのことでした。共に同じイベントに参加しそこで仲間意識が芽生え、自分と同じ感覚の人がいることを感じ、「自分はこれでいいんだ！」という心理が芽生えると

ということです。その質問に対しては心理学の先生を引っ張ってきたのかと正直、驚かされるとともに、その謎解きにある意味納得させられました。その番組では専門家の答えがあやしいと感じる時もありますが、そのような場合には「諸説があります」とテロップを画面に流しており、うまく番組を作っているなあと感心させられます。とにかく、その番組で自分が答えられない質問に専門家が答え、「なるほどそういうことだったのか」と納得し、少し自分が賢くなった気分になる。そしてまた「チョコちゃんに叱られる」を見てしまうというルーチンに私もハマってしまっています。

放送大学の卒業生の方々は放送大学

でそのような経験を積まれて、放送大学の良さや放送大学での楽しみ方をご存知かと思えます。放送大学でキャリアアップを目指された方は仕事をしながらの学習のノウハウをご存知かと思えます。在校生と対話しそれらを伝授頂き、経験に基づいた支援をして頂ければ幸いです。また、卒業生のかたは同窓会に入って放送大学のファンになりませんか？それには小城先生の説によると会員の活動の場が必要となりますが、それがコロナ禍により活動自粛となっており心苦しく思っています。コロナが収まりその制限が完全に解除される日がくることを切に望んでいます。

☆2022年5月21日放送大学同窓会連合会総会が開かれました☆

学長挨拶:

来年開学40周年を迎える。

各同窓会はコロナ禍のなか対応が大変だったと思います。

DX(Digital Transformation)は放送大学の目標の一つである。

副学長挨拶:

デジタルデバイドの解消、DXのためにも同窓会との情報共有を大切にしたい。

行事報告、会計報告の後、情報交換会として各同窓会からの報告がありました。



活動が新聞掲載されました -NPO法人「江川エコフレンド」-

同窓会員の瀬尾規子さんが理事長を務めるNPO法人「江川エコフレンド」が行っている吉野川市江川周辺の美化活動の参加者が延べ2万人を達成したことが2月11日付の徳島新聞に掲載されました。

(著作権の都合上記事は掲載いたしません。興味のある方は徳島新聞をご参照ください)

Dr.石川スペシャル講演開催

9月3日石川榮作前徳島学習センター所長によるスペシャル講演「ヴェートーヴェンの人生哲学—苦悩を超えて歓喜へ—」が開かれました。放送大学制作部によりテレビ収録もされ、12月以降放送大学チャンネルで放送されます。聴講者もコロナウイルス感染予防のため20名限定でしたが、同窓会に3名の枠を頂き参加いたしました。ヴェートーヴェンの音楽は「苦悩」で始まっていますが必ず「歓喜」や輝かしい未来への「祈り」「癒やし」に終わるといった内容のご講演でした。公式講義はこれで最終となりましたが先生の退官されても益々意欲的な研究活動に触れ、私たちも見習わなければと思いました。

募集します

編集局では社会で活躍する会員の皆様の様子を紹介させていただきたいと思っております。新聞記事はもとより、

団体の機関誌の記事等お知らせ下さい。著作権の都合で掲載できないものもありますが掲載されたことを紹介させていただきます。

全コース卒業生 新たに誕生

名誉学生が会員から新たに誕生しました(川西利彦さん)

グランドスラムを達成して

自然と環境卒業生 川西 利彦

この度、放送大学教養学部全コース卒業(グランドスラム)を達成することが出来ました。名誉学生の盾もいただくことが出来ました。ありがとうございました。放送大学に関わる全ての方に感謝申し上げます。

私の放送大学年表です。

- 2001年 科目履修生入学 産業カウンセラー資格を取得し、心理学を学びたくて入学。
- 2003年 発達と教育専攻(現・心理と教育コース)入学 キャリアコンサルタント資格取得
- 2005年 生活と福祉コース入学 社会福祉主事任用資格取得
- 2014年 社会と産業コース入学 福祉住環境コーディネーター資格取得
- 2016年 情報コース入学 国家資格キャリアコンサルタント資格取得
- 2018年 人間と文化コース入学 認定心理士資格取得
- 2020年 自然と環境コース入学 大学キャリア・アドバイザー資格取得
放送大学エキスパート

- ①福祉コーディネーター ②経営の理解 ③市民政策論
- ④社会政策プランナー ⑤地域貢献リーダー人材
- ⑥学校地域連携コーディネーター

放送大学キャリアアップ支援認証制度プログラミング教育プラン

教養学部合計13年間在籍、375単位取得(うち他大学取得60単位)で、全科履修生の幕引きです。

なお、頭の中で、アンコールの音が鳴り響いております。選科履修生で再度入学させていただくことにいたします。

現職で大学生就職支援の仕事が出来るのも、放送大学で学びの継続をしているおかげだと思います。初めて就職相談にお越しになれる大学生に、「私も大学生です。」と学生証を出しご挨拶から相談開始です。

同窓会会員からはこれまでに安田十寸穂さん、篠原一二三さんがグランドスラムを達成し、名誉学生の称号を授与されておられます。

まゆやま歌壇

・
めえめえと
山羊の声にて目覚めしや
母の実家にて幼のあした

・
東国へ
旅に出たのはいつの日か

なにわに行くさへ

難し波なり

・
政治家が

鏡に斃るる報せ聞き

世も末なるか
コーラをおおる

大戸井 祥二





会員の皆様から



近況報告

中條 信義

放送大学在学中で、社会と産業コースを履修中。なんとか卒業したいと勉学中です。世界、日本の状況から、昭和史や世界史をみなおさなければとも思っています。多くの生命が失われたので、焼跡の記憶は忘れられません。

大戸井祥二

現在も学籍はありますが、大学から距離が開いてしまっていると感じています。コロナ禍が収束してもかわらないのでしょうか。

篠原一二三

雑草と戦いながらの農業をしつつ放送大学での勉強をしています。

岡本 充栄

放送大学を卒業してもう14年になりました選科履修生で入学したこともありましたが定年退職して2年、生活も落ち着いてきたのでまた勉強したいと考えています。

磨見 千寿

電話で働く人の悩み相談に応じています。

川上 正

オンライン授業でRというコンピューター言語を勉強しています。難しいですが楽しいです。

川西 利彦

今年度もジョブカフェとくしまで職業相談をしております。令和4年9月末で全コース卒業になります。

新入会員の方にお願ひしました

清水 伝市

私はあと2ヶ月で満100歳を迎える。長かったようで短かったようにも思える。仕事に打ち込む性格なので人との交流が少なかったかもしれない。放送大学で学ぶようになってお友達が出来て沢山のひととお話が出来て嬉しい。遠

方の方からお手紙をいただいたり、徳島学習センターの学生のかたからも戴くことがある。講師の方も優しく教えていただいて学ぶことが楽しい。学生の皆さんとも勉強の議論が出来るのもうれしい。あと僅かの人生と思うが死ぬまで勉強を辞めたくない。

人は何の為に学ぶか。社会のルウルを守り子供に教え立派な社会人に育てて社会におくりだすことも大事とおもう。

私は戦争にいて戦友と親しくともに働いた。戦友と逢うのが一番嬉しかったが今生きている人は分からない。シベリア抑留の時は毎日寒さに耐えて今日は生きて帰れるかどうか分からないと思う毎日であった。優しい戦友にたすけられて生きて帰れた。帰ると国内は食糧不足で大変であった。飛行場の滑走路を掘り返して芋を作ったとゆう話もしていた。私はこの困難に少しでも役立ちたいと思って農業を始めた。米、麦、大豆、芋を作った。次に養鶏を始めた。飼料学は日本になかったのでエサの配合に苦労した。蛋白質が日本人に不足していると言われていたのである。

終戦後20年経過した頃現地で死んだ2人の戦友を弔うため鉄道の終点までいったが雑草が大きくはえて道がわからず足を踏み入れる事もできなかった。

(2022. 09. 26)

藤井 邦隆

はじめまして。今年卒業しました。東京より近く、便利な大阪。毎年5~6回行っていたのですがコロナ禍になってからは行っていません。「観劇・気分爽快!」のためです。

国立民族学博物館、大阪市立科学館・美術館、天王寺動物園、国立文楽劇場、一心寺の浪曲。それから心齋橋筋を歩き廻るのが楽しみでした。民族学博物館は太陽の塔を眺めながら行くことになります。展示は世界の楽器・農魚具・

生活用品・民具などが一部は手で触れることができたりし一日居ても厭きることがない。また、館内食堂でベトナムのフォーを初めて食べたときはうどんとはまた違った旨さでした（最近徳島でもベトナム料理店が二店ありますが一店は食べに行きました）。科学館は小中学生はもちろん大人も物理の勉強ができるような展示もあり、又プラネタリウムは星空を楽しめ音楽の夕べの時は解説を聞きながらネムルことでもありますね。文学劇場は人形浄瑠璃とは雰囲気も違い太夫の語り、人形の迫力ある表現は、さすが玄人だなと感じました。広沢虎造の森の石松（バカは死ななきゃ治らない）のセリフで印象に残っている浪曲は天王寺公園近くの一心寺で聞かれます。高齢者が多数。曲師には若い人も多く居ます。春野恵子も。天王寺には大阪学習センターもあり面接で2回行きました。

その他いろいろあります。路面電車も楽しいですよ。阪堺電気軌道です。

中学校に牛がいた話

篠原一二三

昭和37年ごろ私が、通っていた中学校に牛が飼われていました。一頭ですが職業科目担当の先生や近くの農家の方が世話をしていたと思います。学校は吉野川中流地帯の北岸にあり、大部分が農家の子弟でありました。夏休みの宿題に牛の餌にする干し草作りがあり、各自が作り夏休明けに束にして学校に持って行きました。学校田もあり稲を作っていました。その後、近隣の校区3校が統合し町内一校となり、科目も「職業」から「技術家庭」となり牛はいなくなりました。家では遊びもそこそこに農作業を手伝っていました。手伝いの合間には川や山でメジロや魚をつかまえたりして自然相手に遊び、勉強の方では、英語の先生がリールテープ式の録音機を活用して発音を教えてくれ、これが当時最新式の学習機器でした。電話も普及しておらず集落の中心にある何でも販売店に借りに行っていました。テレビはこの頃から

裕福な家や店に入りはじめていました。このような牧歌的な時代にあって、40年後に情報関係が驚異的に発達しメディアを活用した大学教育が受けられるとは、夢にも思わず、想像だにできませんでした。

その後色々なことを経験、体験し50歳で放送大学に入学し、ありがたい恩恵を受けながら学び、何回も卒業し、新しい知識を吸収することができました。

放送大学に入学し学びを深められたことは勿論、各県における面接授業、中国四国同窓会交流会、全国同窓会連合会の活動を通じ、県内外において多くの学友と知り合いになり交流が深められています。放送大学に入学していなければ、このようなことはなく、人生が豊になりました。すばらしい放送大学の制度に深く感謝しております。

防災士の活動

川西利彦

防災士活動の原点は、元陸上自衛官・元予備自衛官に起因します。災害時に役立つ防災教育を中心に活動しています。

①NPO法人日本防災士会徳島県支部

月1回の役員会、研修会に参加して、情報共有と学びをしています。

②行政等への協力

徳島市防災サポーター、徳島県防災啓発サポーター、徳島大学災害危機対応マネージャーを拝命しています。

③防災教育学会会員

小・中学校の総合学習授業講師、高校防災クラブ支援等、ご依頼により防災教育をしています。

④放送大学での学び

災害社会学(20)を履修中です。

**天災は忘れた頃にやって来る。
備えあれば憂いなし。**

一度、考えてみましょう！

村の鎮守の神様の

大戸井祥二

昨年の秋から1年間の任期で地元の神社の世話役＝「肝煎（きもいり）」の中で、会計を務めています。

2ヶ月に一度ほどある神事や日常の神社運営に必要な物品の買い出しやお金の出し入れはもとより、神社の維持管理や施設の改修に伴う立会や協議など、他の肝煎メンバーや総代さんと連携して与えられた業務を処理してきました。

元々神社参りが好きであちこちの神社を訪れたりその成り立ちについて学んだりしていたこと、また何か地域の地域活動に参加したいと考えていたこと、さらには現在勤務している公園の維持管理の仕事での経験を活かせるなど、いろいろな面で縁あっていただけの仕事なのかなと思っています。

この肝煎の仕事も10月中旬の例大祭でひと区切りとなり、残務処理を経て10月下旬には任期を終えます。

（現在は9月下旬）

残念なのは例大祭でのお神輿が中止となるなどコロナ禍が神社の運営に影響を及ぼしたこと、神社の老朽化や地域の少子高齢化がすすんでいること。今後も地域が無事平穏に続くよう、神様をお願いしていきたいと思います。

鉄ちゃん補修行中

呑鉄も修行中

夫婦ともに定年退職後再雇用で就職。少し時間に余裕ができたと思ったらなんと今頃になって主人が乗り鉄に。まだまだ時間と財源が不足して思う存分とはゆきませんが今年は「近鉄特急火の鳥」に乗車し、名古屋に行きました。コロナ第6波と7波の隙間で上手いことすり抜けることができました。これまで旅行はすべて人任せでしたが、予約、切符の手配を自分でやってくれました。これを機にオンライン決済の技も習得し、自立の道を歩んでいます。勿論呑み鉄本線日本旅もしっかり聴講して修行に励んでいます。

総会報告

2022年5月22日、書面による総会を実施いたしました。

当日会員数53名　うち返信　21名

審議議案

第1号議案　2021年度事業報告

第2号議案　2021年度会計報告

会計監査報告

第3号議案　2022年度事業計画

第4号議案　役員について

各議案全員の賛成をもって可決されました。ありがとうございました。

2022年度役員

顧問

石川榮作前所長

橋爪　正樹所長

篠原一二三前会長

会長

柳本　聖（編集局長兼務）

副会長

磨見千寿　・赤澤裕子

会計

大戸井祥二

会計監査

岡本充栄

事務局

春本順司

よろしくお願いいたします

同窓会からのお願い

★会費納入

同窓会会費は年間1,000円です。

未納の方は払込みをお願いします。

振込先（振込口座）郵便貯金口座

01680-0-8663

口座名義　放送大学徳島同窓会

★住所、メールアドレス等の変更時には連絡をお願いします。各種案内や会報の不着や連絡不通となっています。

編集後記

毎年この時期は原稿を
会員の皆様にお願ひし、会報　案
を読んで誤字脱字を探してと忙しい日々
です。今年はそれに加えて編集という
作業も加わりてんやわんやでした。

コロナウイルスの影響で活動も一時
停止状態で記事も集まりません。この
ような状態で昨年、一昨年を含め5年
間も会報編集を引き受けて頂いた岡本
満雄前編集局長に感謝いたします。あ
りがとうございました。（柳本）

